

棚田米づくり活動 北区役所で報告

静岡文化芸術大生

静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生らでつくる「引佐耕作隊」

がこのほど、同市北区引佐町の久留女木の棚田で栽培、収穫して同大の生協などで販売していた米「久留女木棚田の恵」を北区役所に届け、高田勝弘区長に活動を報告した。

船戸修一准教授が担当する地域連携演習の一環で、棚田の耕作放棄地を活用して育てた米を商品化し、棚田保全のビジネスモデル確立を目指している。昨年6月に田植えを始め、管理や稲刈りに取り組み、管理や稲刈りに取り組み組んだ。

文化政策学部1年の鈴木義人さん(19)は「食害や水の管理などトラブルもあったが育てることができ、届けられてよかった」と話した。